

# 経営指導員が発見! キラ★星 企業

No.82

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



## 家業の金属加工から トタンのバケツ製造に特化

昭和23年、初代社長の尾上明氏は姫路市神屋町に株式会社を設立した。神崎郡福崎町で家業として金属加工を営んでいたが、これを機に、その中の一つであるトタンのバケツ製造に特化した。同社はバケツの販売を市内から、大阪、さらには全国へと拡大しつつ、同じトタン製のチリトリ・ジョーロ・湯たんぽといった家庭用品へと商品を展開。さらに昭和61年には、当時アメリカ製が主流だったBBQコンロが大掛かりで高価なことに目を付け、BBQコンロを独自に開発した。このコンロは家族がコンロと食材を合わせて1万円程度で楽しめるように価格を設定、また、日本のホルモン文化に合わせて網を格子状にしている、まさに日本人のためのBBQコンロだ。昨今は、ミニサイズのかまど等BBQコンロ以外にもアウトドア用品を多数手がけており、設立当時から続く自社ブランド開発に磨きをかけている。

## よい商品を適正な価格で

名城社長は「経営理念にもある『よりよい商品を適正な価格にて提供する』ことは常に意識しています。素材や加工にかかる費用からこの商品はこの価格になる、と決まれば、時代の流行りであったとしても値段を上げることはしません。それはお客様に対して失礼ですし、信頼も薄れてしまうと考えています。」と語る。同社の金属加工は金型を使用しているの見込み生産が基本だ。大量生産によって利益を生み出し、コストパフォーマンスを高めることができるが、一方で、その初期投資は大きくなる。これまでも時代に応じた商品開発をすすめてきた同社だが、そこには常に慎重かつ繊細な生産・販売計画がある。

## 多種多様な商品が互いにつながり合う

キャンプブームで、持ち運び自由に暖をとれ

株式会社 尾上製作所 代表取締役社長 名城 嗣明

機会を逃さず未来を切り拓く『戦略は大胆かつ繊細に』

る湯たんぽが、コロナでおうち時間が定着し、ガーデニングへの関心が高まってジョーロが、といったように、昔から変わらず製造している商品が思わぬところで注目されることも少なくない。また最近では、設立当時からあるバケツと、昨今開発をすすめるキャンプ用品を掛け合わせたアウトドア用のバケツを新たに展開した。持ち手にさくらの原木を使用したり、黒の塗装を施したりとデザインにこだわった一品となっている。

さらに今年9月には自社のロゴを統一させた。同社のシンボルともいえるバケツをラクダが運んでいるデザインとなっている。全ての商品に同じロゴを使用することで、今までアウトドア用品を使っていた顧客に、家庭用品等の商品を知ってもらい、その購買を促すことが狙いだ。

ONOE



## 今後の展望

名城社長は3つの展望を語った。1つ目は海外取引リスクに負けないよう、国内生産の商品を増やすこと。2つ目はバケツやBBQコンロに次ぐ、会社にとっての柱となる商品を生み出すこと。3つ目は新たな販路の開拓にチャレンジして若い世代や海外の方に自社ブランドを浸透させることだ。同社の今後の活躍に期待したい。

## DATA

事業内容：バケツ・バーベキューコンロ・ユタンポ・塵取製造  
家庭用品、レジャー用品製造販売  
所在地：〒679-2101 姫路市船津町4603番地2  
電話：079-232-1261  
HP：https://www.onoess.co.jp/index.html